



心の支えイメージマップで語らう会

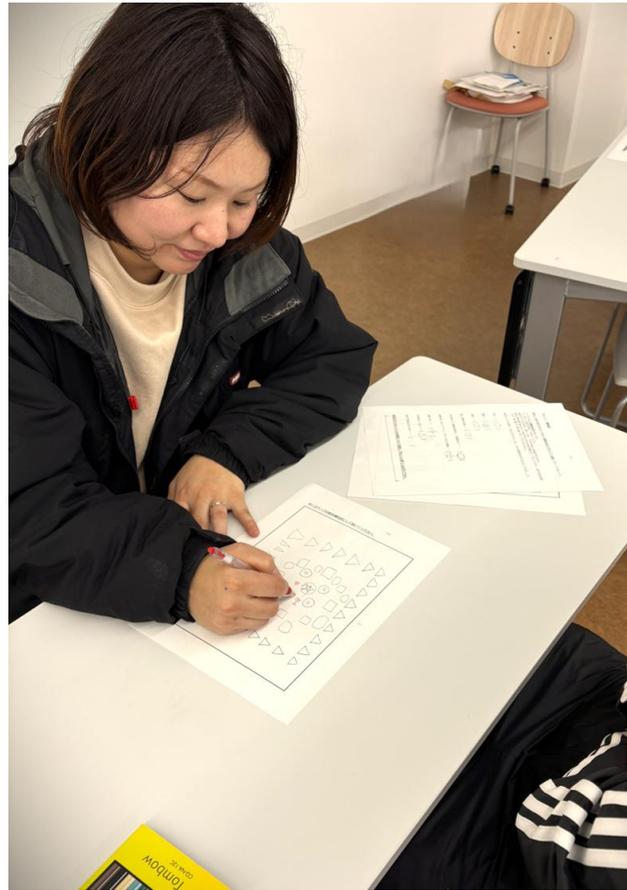
2025.2.27

小学2年生から大学生、教員が集い、心の支えイメージマップを描いた。いつも一緒に活動している仲間であるため、互いの描画を見せ合い、率直に語り合った。



心の支えイメージマップ
(通称：MSIM ミッション) は、
小学校高学年から適用可能。
写真の小学生はそれ以下で、
途中からお絵かきタイムになっていたがそれはそれで楽しいwww

描き終わったら心の支えに
ついてインタビュー！

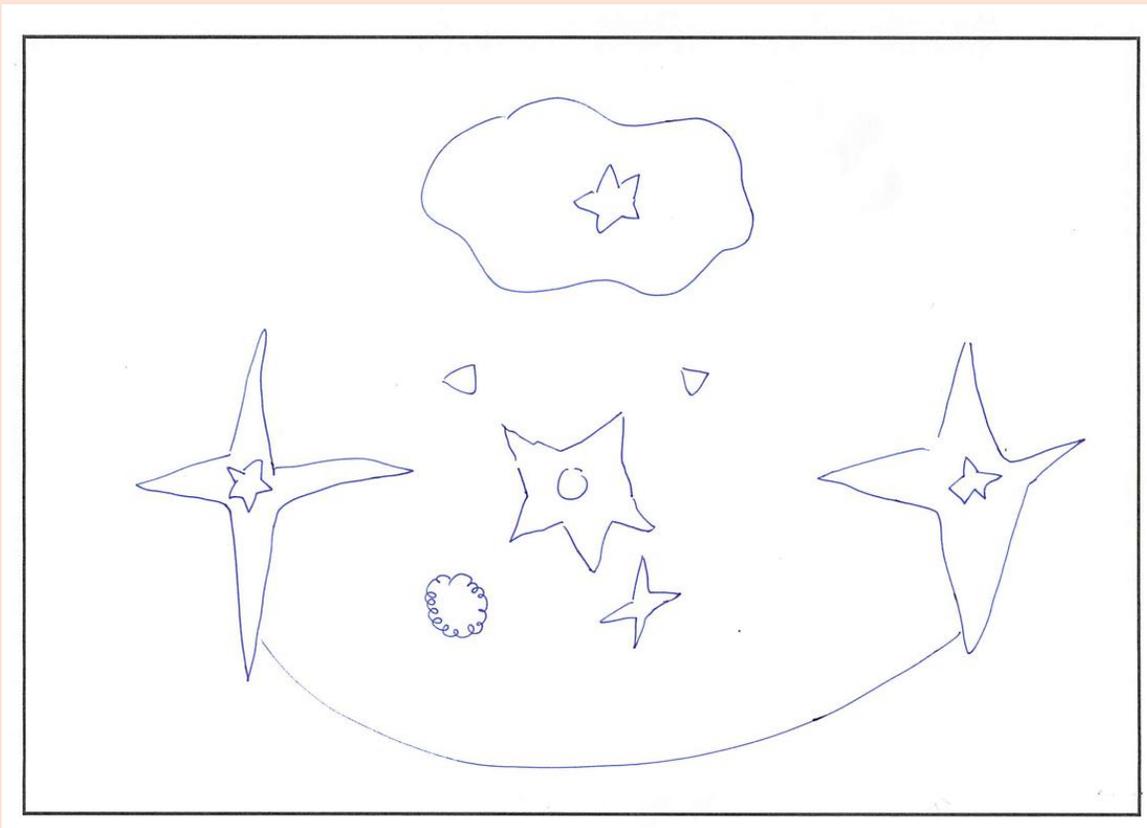
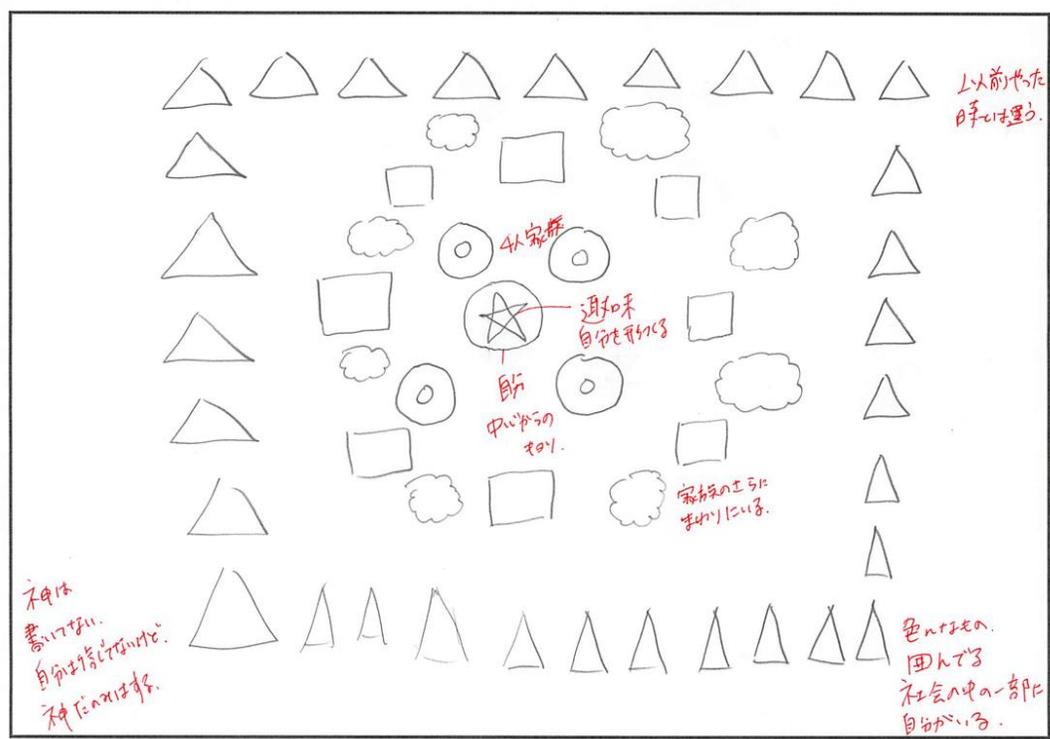


横並びが理想。
対面でもいいが、書き込みが
絵と逆になるのが少し
見にくいかも・・・。
気の置けない仲間どうしなら
グループでわいわいも楽しい。



心の支えイメージマップ ミッションの紹介

下：大学3年生男子。「趣味は読書。自分を形作っているもの。」
 「4人家族。離れてはいるけど一番の支え。家族の支えのさらにまわりに友だちや先生やバイトの人たちがいる。」「そのまた外にいろいろな人やものが囲んでいて自分は社会の一部に在るんだと実感している。」
 「2年前にもやったけどたぶんだいぶ違うものになってるんじゃないかな。」
 対話したのは、ゼミ活動を一緒にしている外部教員。自分を紙面の中心に描き、内在化している支えと外在化された多数の支えの双方を併せ持った安定感のあるミッションだ。



上：中学3年生男子のミッション。「趣味（eスポーツ）が自分をつくっている。」「両脇の大きいやつは神とか宗教とかじゃないけど、趣味から生まれた思想みたいなもの。」「上のもやもやしたのも趣味で知り合った人たちを含めて自分らしさのかたまりみたいなもの。」「空きスペースはこれから成長していくための空間。」
 対話したのは担任の先生。終わった後、「先生はいつも上手に話を引き出すけど、そこまでぼくのことを理解しているとは思わなかった」と感想を述べた。先生は、「ゲームは単なる遊びではなくて、彼なりの考え方や処世術のようなものを反映している気がした。趣味のゲームが自分らしさや自己効力感を形作り、これからの未来に明るい光を照らしているのかもしれない。絵がシンメトリーでバランスが良いのも彼のいいところ」と語った。